

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	令和元年度第3回高松市伝統的ものづくり振興審議会
開催日時	令和2年2月19日(水) 15時30分～17時00分
開催場所	高松市役所 7階 72会議室
議 題	(1) 令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業 実績報告 (2) 令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業 進捗報告 (3) 令和2年度高松市伝統的ものづくり振興事業(案) (4) 高松盆栽振興事業 (5) その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	公開
出席委員	5 人 本多委員、谷委員、穴吹委員、井藤委員、英委員
傍聴者	1 人 (定員 5 人)
担当課および連絡先	産業振興課創造産業係 8 3 9 - 2 4 1 1

審議経過および審議結果

～事務局より議題(1) 令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業実績報告について説明～

(委員)

伝統的ものづくり夏休み親子体験教室について、集客の多い民間の商業施設での開催を検討してはいいのではないか。

(事務局)

現在、ワークショップだけではなく、伝統的ものづくりの歴史や現状などについてのお話もしてもらい、理解を深めることも目的として実施しており、講師の先生のお話が聞きやすい雑音の少ない静かな環境で開催したいと考えているため、御提案の場所での開催は難しいかと考えている。

(委員)

伝統的ものづくり学校巡回教室の実施校に偏りがあるのではないか。

(事務局)

現在、市内の小中学校へ希望調査をとり、希望のあった学校の内、事業者の都合や過去の実施校の状況を踏まえて実施校を決めている。人数の多い学校から希望があった場合も事業者と相談した上でやり方を工夫して臨機応変に対応していきたいと思っている。

審議経過および審議結果

～事務局より議題（２）令和元年度高松市伝統的ものづくり振興事業進捗報告について説明～

（委員）

香川漆芸魅力発信戦略事業について、富裕層に向けての特化したプロジェクトと捉えてよいのか。

（事務局）

香川漆芸のブランド化を目指している事業であり、香川漆芸の認知度を高めることを目的としている。その事業の１つに、富裕層をターゲットとした女性誌とタイアップして、香川漆芸と高級ブランドとのコラボ作品を制作し、同誌上で特集掲載するとともに販売を行うものがある。

～事務局より（３）令和２年度高松市伝統的ものづくり振興事業（案）について説明～

（委員）

たかまつ工芸ウィークに関して、文化、産業、観光等が融合した事業となればよいと思う。

（委員）

見本市のような核となるイベントをクルーズ船の来港時期と合わせて開催するのもいいと思う。

（委員）

産地ツアーについて、観光に来た人や、来ようとしている人に対して、情報を届けることが必要であり、ホテルやゲストハウス等と連携して案内してもらうことも考えてはどうか。

（事務局）

いただいた御意見を実行委員会の中で協議して進めていきたい。

～事務局より議題（４）高松盆栽振興事業について説明～

（委員）

研修施設に外国人の方も参加されているとのことだが、その方達に、今後どのような役割を担って欲しいと考えているか。また、今後、研修施設を増やしていく考えはあるか。

（事務局）

後継者になって欲しいという思いもあるが、その国へ輸出出来るようになれば、自国への普及や情報発信もして欲しいと考えている。

受入体制の問題もあり、現時点では、施設を増やすことは考えていない。

～議題（５）その他について～

（オブザーバー）

オブザーバーの皆様より御意見等をいただく。

